

伊丹市特殊詐欺対策電話機等購入補助金交付申請書兼請求書

伊丹市長 様

申請者 郵便番号 〒
 住 所 伊丹市
 氏 名
 連絡先

伊丹市特殊詐欺対策電話機等購入補助金の交付を受けたいので、伊丹市特殊詐欺対策電話機等購入補助金交付要綱第 6 条の規定に基づき、次のとおり申請するとともに、補助金を請求します。また、交付決定にあたって必要な範囲で申請者及び同一世帯に属する者の住所、氏名、生年月日について、住民基本台帳を閲覧することに同意します。

1 申請内容

| | | |
|---|--|--|
| 補助対象者 (申請者又は同一世帯の 65 歳以上の方の氏名・生 年月日) | 氏 名 | <input type="checkbox"/> 申請者と同じ _____ |
| | ※申請者と同じ場合は <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。 | |
| | 生年月日 | _____年 _____月 _____日 |
| 補助対象機器種別 | ※該当機器のいずれかに <input checked="" type="checkbox"/> を入れ、自宅の電話番号を記入してください。 <input type="checkbox"/> 自動録音電話機 <input type="checkbox"/> 外付け録音機 自宅の電話番号 _____ - _____ - _____ | |
| 購入額 (補助対象経費) | 購入額 _____ 円 (税込み) | |
| 交付申請額 | 交付申請金額 _____ 円 上限：自動録音機 10,000 円、外付け録音機 5,000 円 ※購入額と上限額のいずれか低い方の金額を記入してください (100 円未満は切り捨ててください) | |
| 購入機器名称等 | メーカー名・品名： 品番： | |

2 振込口座 (金融機関, 又はゆうちょ銀行のいずれか 1 つを記入ください。)

| 金融機関名 (ゆうちょ銀行を除く) | 支店名 | 分類 | 口座番号 (右詰めでご記入ください) | 口座名義人(必ずカタカナ) |
|----------------------------|-----|----------------|-----------------------|---------------|
| 銀行・信用金庫 農協・労働金庫 信用組合 | | 1. 普通 2. 当座 | | |

| ゆうちょ銀行 (郵便局) (通常貯蓄貯金への振込はできません) | 記号 | 番号 | 口座名義人(必ずカタカナ) |
|---|----|-----|---------------|
| ゆうちょ銀行を選択された場合は、貯金通帳の見開きを左上、またはキャッシュカードに記載された記号・番号をご記入ください。 | 1 | 0 - | 1 |

3 確認事項（内容を確認し□欄に☑してください。）

- 今現在、申請者、または、同一世帯に属する者が、兵庫県警察から特殊詐欺対策電話機等の貸与を受けていません。
- 申請者、または、同一世帯に属する者が、過去に当該補助金を利用して特殊詐欺対策電話機等を購入していません。
- オークション、フリマアプリ等個人からの購入ではありません。

4 誓約事項（内容を確認し□欄に☑してください。）

- 申請者、または、同一の世帯に属する者が、伊丹市暴力団排除条例（平成24年伊丹市条例第4号）第2条第2号に規定する暴力団員ではないことを誓います。

5 添付書類

- (1) 領収書・レシートなど、電話機又は外付け録音機を購入したことがわかる書類の写し
- (2) 購入した電話機又は外付け録音機のメーカー名、品名及び防犯機能が確認できるカタログ又は取扱説明書の写し
- (3) 通帳やキャッシュカードなど、補助金の振込先口座及び口座名義人が確認できる書類の写し
- (4) ・申請者の住民票の写し （住民基本台帳の閲覧に同意される方は不要）
 - ・申請者が65歳未満の場合は、

| |
|------------------|
| 申請者 |
| 申請者と同一世帯の65歳以上の方 |

両者の住民票の写し（住民基本台帳の閲覧に同意される方は不要）
- (5) 申請者の公的身分証明書の写し
 - ・住所と顔写真の付いている証明書であれば1点必要です。（運転免許証、運転経歴証明書、マイナンバーカードなど）
 - ・顔写真のついていない証明書であれば2点必要です。（健康保険、介護保険などの被保険者証、年金手帳、住民票など）※うち1点に住所の記載が必要です。（例：国民健康保険被保険者証と年金手帳）